

# 第3期川西市参画と協働のまちづくり推進計画 構成（案）

## はじめに

市長あいさつ

## 第1章 参画と協働のまちづくり推進計画について

### 策定の趣旨

人口減や少子高齢化、市民ニーズの多様化する中、様々なまちづくりの主体が、それぞれの力を生かせるさらに個性的で魅力あふれるまちづくりをめざす

### 計画の位置づけ

参画と協働のまちづくり推進条例第13条の基本計画の策定に基づき、総合計画と整合性を図る

### 計画期間

令和6年度から令和13年度までの8年間とする

## 第2章 第2期 推進計画の振り返り

取組項目の進捗評価

## 第3章 現状について

### 市民アンケート、団体アンケートより

- ・地域に関心を持っている市民は多い  
（情報は紙ベースで認知）
- ・地域活動や市民活動の内容や参加の仕方が分からない人も多い
- ・他の活動団体との交流意欲は高い

### 事業者ヒアリングより

- ・事業者にもっと関わってもらうためには、気軽に定期的に声かけをしたらいいのではないか

### コミュニティ懇話会

- ・役員の高齢化など担い手がいない
- ・予算の配分を変更することが難しい

## 第4章 第3期推進計画の目標について

### 第6次川西市総合計画

総合計画のめざす姿 私たちが大切にしたい思い  
(4つに基本姿勢)

### 推進計画のめざす姿

自分たちがまちづくりの主体であるという意識を持つ。市や地域の取り組みに参加するには様々なハードルが考えられるが、自分のやりたいこと、出来ることで少しずつ参加するための仕組みが必要。

みんなが気軽に参加することで「みんな、気がついたらまちづくりに参加している」状態をめざす

## 第5章 推進計画の考え方について

### 基本的な考え方

「住んでいるまちをよりよくするため、自分ごととしてとらえ、できることをする」その実現のために第3期では「様々な主体の力が発揮できる仕組みを増やす」ことを基本的な考え方として取組みを進める。

### それぞれの役割

・市民      ・市民公益活動団体      ・事業者

## 第6章 推進方策について

### めざす姿を実現する取り組み

めざす姿を実現する取り組み。  
条例第14条に規定する3つの施策で整理。  
①情報共有、②団体等の支援、③意識啓発  
次ページ参照

### 指標

2期の考え方を基本とする  
(資料2 参考資料1)

## 知る(情報共有)

### ●近所付き合い

- ・近所を散歩する
- ・挨拶をする
- ・助け合う

### ●ICTの活用

- ・SNSを使用して情報を取る

### ●仲間づくり

- ・参加している方からの呼びかけ
- ・親しい人に声をかける、誘い合い

## 興味を持つ(意識啓発)

### ●目を向ける

- ・近所に住んでいる人(例：子育てや単身世帯など)を知る
- ・広報誌や回覧板、掲示板を見る

### ●市民会議への出席

- ・意見交換や情報交換の場への参加

### ●情報発信

- ・SNSを使用して、情報発信

## 参加する(団体等への支援)

### ●仲間づくり

- ・地域のイベント(スポーツ大会など)に参加する

### ●市議会を傍聴する

### ●タウンミーティングへの参加

- ・市長が市民と対話するミーティングへの参加

### ●パブリックコメントによる意見提出

### ●市民アンケートに回答する

### ●ICTの活用

- ・SNSを使用して共有を図る

### ●情報共有

- ・地域の会合への参加

### ●情報発信

- ・ポスターや地域の子どもたちが書いた絵画などを店舗の前に掲示する

### ●イベント企画・協賛

- ・参加しやすいイベントの企画
- ・イベント時の出店や出店調整をする
- ・地域のイベントや機関誌への協賛

### ●情報発信

- ・チラシやポスターを作る

### ●情報発信

- ・活動内容や参加方法を情報発信
- ・ワークショップを開催する
- ・ホームページ等でまちを紹介していく

### ●イベント企画・協賛

- ・参加しやすいイベントの企画や協賛

## 知る(情報共有)

### ●情報共有

・市、市民、団体が情報を共有するための情報提供の方法の充実(★)

### ●タウンミーティング開催

・市長が市民と対話するミーティングを開催(★)

### ●パブリックコメントの実施

・丁寧に情報提供し、より実効的なものにしていく(★)

### ●ICTの活用

・多様な媒体(QRコード設置等)による情報提供(★)

・スマートフォンを活用していく取り組み(★)

### ●情報発信

・地域の身近な情報を紹介してもらう市民記者の募集(★)

・審議会委員の公募(★)

## 興味を持つ(意識啓発)

### ●市民会議の開催

・市民が集まりテーマ別に話し合う場を設定(★)

### ●無作為抽出による参加依頼

・市民会議等の参画の場に、無作為に選ばれた市民に参加を依頼

・目立つ封筒を使用し案内状を送る(★)

### ●きっかけづくり

・活動を知るきっかけづくりや話し合いのツールとしてのゲームなどの研究、活用

### ●職員研修

・階層別研修

・地域団体、市民団体との交流研修(★)

・市民との対話を深めていくための研修(★)

## 参加する(団体等への支援)

### ●公募型補助金制度

・テーマ型の補助金を公募により実施(★)

### ●地域人材マッチング

・地域団体や市民団体と力を活かしたい市民を結びつける仕組みの運用(★)

### ●地域協働事業

・一括交付金の運用について見直しを検討

・コミュニティ組織との協働の取組みを実施(★)

・公民館等で地域活動を支援(★)

### ●講座・研修会・交流会の開催

・地域活動や市民活動を活発にする講座等を開催(★)

・開催後に市に生かしてもらえる仕掛けづくり(仲間づくりの場の設定など)

### ●市民活動センター

・市民活動・地域活動の拠点としての役割の充実

### ●自治会支援

・自治会活動のアウトリーチによる相談

※ (★)は資料1の取り組みより抜粋